

2013年6月6日

**[1]第18回日本IFTOMM会議シンポジウムの報告**

2012年5月12日(土), 東京工業大学石川台3号館工学系会議室において, 総会に先立ち, 下記の要領で2012年度第18回のシンポジウムが開催された. 3セッション10件の講演発表とともに2004年度IFTOMM Award of Merit受賞者である, 東京工業大学大学院機械宇宙システム専攻教授廣瀬茂男教授による特別講演が行われ, 約40名の本会会員の参加者ならびに早稲田塾イベント参加者30名の参加者により活発な討論が行われた.

**第18回 日本IFTOMM会議シンポジウム プログラム****日 時:**2012年5月12日(土)10:45~17:10**会 場:**東京工業大学石川台3号館3階工学系会議室(304号室)**発表テーマ:****セッション1: 「機構と運動」****座長 岩附信行(東工大)**

1. 3-RPSR パラレルメカニズムを用いた複雑3次元パイプベンダーの開発  
ーらせん形状の加工ー  
稲田 論(元東工大), 武田行生(東工大), 松浦大輔, 〇川澄翔平,  
一柳健(菊池製作所), 広瀬和也
2. 水力学的骨格を利用した柔軟繊毛ロボットの開発  
〇東 拓矢(東工大), 木村仁, 伊能教夫
3. 非線形振動系における高次スペクトル解析の有効性について  
〇松本宏行(ものづくり大), 竹内幸司(工学院大院), 大石久己(工学院大),  
山川新二

**セッション2: 「生物機能の理解と応用」****座長 岡田昌史(東工大)**

4. 成長するロボットの研究 - 人体の寸法・体重と歩行の疑似再現 -  
〇鈴木啓介(工学院大), 高信英明, 鈴木健司, 三浦宏文
5. 動物の筋配列の機能的特性を有する四脚ロボットの機構  
〇鷲塚祐希(富山県立大), 大島 徹, 小柳健一, 本吉達郎
6. FES を用いた人間の膝関節アクティブ粘弾性の推定  
〇阪口聖也(東京農工大), ベンチャー・ジェンチャン, 林部充宏(INRIA/LIRMM),  
アゼベド・クリスティン
7. ロボット足開発のためのヒトの歩行解析  
〇小川祐介(東京農工大), ベンチャー・ジェンチャン

**特別講演**

「東日本大震災とロボット ~ 本当に使えるロボット開発はどうあるべきか ~」

講師 廣瀬茂男 先生(東京工業大学理工学研究科機械宇宙システム専攻 教授)

セッション3:「医療・バイオエンジニアリング」座長 ベンチャー・ジェンチャン(東京農工大)

8. 三次元磁気テザーと三自由度弾性ステージを有する

非接触微粒子マニピュレーションシステム

○松浦大輔(東工大), Zhipeng ZHANG (GE グローバルリサーチセンター), Chia-Hsian MENQ(オハイオ州立大)

9. 低侵襲脳外科手術における術野確保

- 操作性を考慮したマスタ・マニピュレータの製作 -

○和泉信吾(工学院大), 高信英明, 鈴木健司, 三浦宏文, 藤江正克(早稲田大), 伊関 洋(東京女子医大)

10. 強調運動提示による胸骨圧迫の運動教示と評価

○萱島駿(東京工業大), 岡田昌史

また, 2005年度から創設された「Young Investigator Fund」に基づくBest Paper Awardについて, 本会フェローで構成される審査委員会による講演論文の事前審査に基づき, 下記3名のFinalistが選出され,

(1) 富山県立大学 鷺塚 祐希君

論文: 動物の筋配列の機能的特性を有する四脚ロボットの機構

(2) 東京工業大学 松浦 大輔君

論文: 三次元磁気テザーと三自由度弾性ステージを有する  
非接触微粒子マニピュレーションシステム

(3) 東京工業大学 萱島 駿君

論文: 強調運動提示による胸骨圧迫の運動教示と評価

さらに, 講演発表の審査に基づき, 東京工業大学 松浦 大輔君にBest Paper Awardを贈賞した。

その表彰式はシンポジウム終了後の総会席上で審査委員長北條実行委員長の司会により開催され, Best Paper Award受賞者には賞状, 賞牌, 賞品ならびにFinalistには賞状および賞品が北條実行委員長より贈呈された。その表彰式の写真を示す。(文責 岩附)



Best Paper Awardの賞状・賞牌の贈呈

## [2]2012年度日本IFTtoMM会議総会の報告

2012年5月12日(土), 東京工業大学石川台3号館工学系会議室において2012年度総会が開催され, 2011年度の事業報告, 収支決算報告および監査報告, 2012年度の事業計画および収支予算の審議ならびに承認, および役員構成に関する会則の変更が行われ, 次期実行委員を選出した. 主な議事, 決定内容の詳細は下記の通りである.

### I. 2011年度事業報告

#### 1. 国際活動

- (1) 14<sup>th</sup> IFTtoMM World Congress (2015) の開催を立候補(広島, 2015年6月), World Congress 期間中(グアナフアト, メキシコ, 2011年6月)にEGと総会でプレゼン実施. 残念ながら落選.
- (2) 13<sup>th</sup> IFTtoMM World Congressに参加
- (3) IFTtoMM ISRM2011(2<sup>nd</sup> IFTtoMM International Symposium on Robotics and Mechatronics, 2011年11月3日~5日, 中国・上海交通大学)に参加
- (4) ICMT2011(International Conference on Mechatronics Technology, 2011年11月30日~12月1日, オーストラリア・メルボルン)に参加
- (5) IFTtoMM Newsletterの提出(2011年11月)
- (6) 追悼文の発信(ブコブラトビッチ教授ご逝去, 2012年3月18日, ホームページにて)

#### 2. 国内活動

- (1) 実行委員会を4回開催(2011年7月16日, 10月6日, 12月20日, 2012年4月16日)
- (2) 2011年度総会を開催(2011年7月16日, 東京工業大学)
- (3) 第17回日本IFTtoMM会議シンポジウムを開催(2011年7月16日, 東京工業大学)
- (4) 若手会員育成のためのシンポジウム表彰  
(若手会員育成基金「Young Investigator Fund」に基づく優秀論文賞贈賞, 2011年度第17回シンポジウムにて)
- (5) The 2<sup>nd</sup> IFTtoMM ASIAN Conference on Mechanism and Machine Science (ASIAN MMS 2012)の実行委員会を組織, 実行委員会を4回開催(2011年10月6日, 12月20日, 2012年2月24日, 4月16日)
- (6) 日本IFTtoMMニュースNo. 39を発行(2011年7月19日)
- (7) 実行委員会メンバーの変更

担当の変更:

北條春夫実行委員長代行→委員長,  
岩附信行幹事→副委員長,  
武田行生委員→幹事,  
竹村研治郎委員→副幹事,  
中村仁彦委員→監事

新任:

佐々木健副委員長,  
新井健生委員, 池原忠明委員, 大西謙吾委員, 岡田昌史委員, 木口量夫委員,  
米田隆志委員, 近野敦委員, 松元明弘委員, 宮川豊美委員, 山中仁委員,  
山本晃生委員, Jorge Solis委員, Venture Gentiane委員

退任:

木村康治委員, 松日楽信人委員, 吉本堅一監事

- (8) 見学会の実施（ジャトコ(株), 静岡県富士市, 参加者21名, 2011年12月5日)
- (9) 講演会の実施（Marian Wiecegroch教授, 2011年12月5日, 東京大学）
- (10) 講演会の実施（Marco Ceccarelli教授, 2012年2月24日, 東京工業大学）
- (11) 協賛シンポジウムの実施（感性と設計に関する国際シンポジウム, 2012年3月16日, 東京工業大学）

### 3. 会員の状況（2012年4月1日現在）

個人会員： 101名

賛助会員： 4団体（（株）小笠原プレジジョンラボラトリー,（財）機械振興協会,  
（株）東芝, 日機装(株)）

## Ⅱ. 2011年度収支決算報告(2011年4月1日～2012年3月31日)

### (1) 一般会計

#### 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	備 考
会費収入(個人)	600,000	445,000	(5,000円×89名)
会費収入(賛助)	200,000	200,000	(50,000円×4社)
予稿集売り上げ	10,000	0	
技術交流会会費	100,000	100,000	(5,000円×20名)
見学会懇親会会費	60,000	0	
Young Investigator Fundより繰入	40,000	40,000	
利息		98	
小 計	1,010,000	785,098	
前期からの繰越金	33,134	33,134	
合計	1,043,134	818,232	

#### 支出の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	備 考
[国際活動費]	<u>240,000</u>	<u>203,448</u>	
IFTOMM年会費	230,000	194,448	
送金手数料	10,000	9,000	
[国内活動費]	<u>383,500</u>	<u>373,995</u>	
会議費	12,000	35,150	
シンポジウム・総会費	200,000	162,130	印刷費, 交流会費
Asian MMS2012 準備費用	0	46,620	チラシ印刷費
見学会費用	10,000	0	
特別講演会	0	14,305	2/24 Prof. Ceccarelli
フェロー記念品	3,500	0	
事務委託費	80,000	80,000	年間
通信費	34,000	20,480	
郵便振替費	7,000	6,700	
事務局諸経費	47,990	8,610	印鑑代, コピー代, ホームページ保守費, ドメイン登録費, サーバ利用費
[MMT誌費]	<u>64,000</u>	<u>118,359</u>	
賛助会員購読料	64,000	64,000	
補てん	0	54,359	
[Young Investigator Fund表彰]	<u>40,000</u>	<u>41,890</u>	赤字補てん
賞品	30,000	30,000	
賞状および賞楯	4,000	3,890	
通信費	6,000	8,000	
国際会議準備金積立	<u>150,000</u>	<u>50,000</u>	
国際交流活動準備金	<u>100,000</u>	<u>30,000</u>	
		0	
小 計	988,490	817,692	
次期繰越金	54,644	540	
合 計	1,043,134	818,232	

## 2. MMT誌会計

### 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	備 考
MMT誌購読料収入			
個人	320,000	192,000	(16,000×12)2011年度
賛助（一般会計から繰入）	64,000	64,000	(16,000×4)2011年度
一般会計から補てん	0	54,359	一般会計から繰入
小 計	384,000	310,359	
前期からの繰越金	0	0	
合計	384,000	310,359	

### 支出の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	備 考
出版社への支払	372,000	301,359	15,861×19 (2011年度)
送金手数料	10,000	9,000	
小 計	382,000	310,359	
次期への繰越金	2,000	0	
合 計	384,000	310,359	

## 3. 基金等

### (1) Young Investigator Fund

#### 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	備 考
前期からの繰越金	764,475	724,475	
合計	764,475	724,475	

#### 支出の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	備 考
一般会計へ繰り入れ	40,000	40,000	
次期への繰越金	724,475	684,475	
合 計	764,475	724,475	

### (2) 国際会議準備金

#### 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	備 考
前期からの繰越金	1,463,000	1,463,000	
一般会計から積立	150,000	50,000	
合 計	1,613,000	1,513,000	

#### 支出の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	備 考
次期への繰越金	1,613,000	1,513,000	
合 計	1,613,000	1,513,000	

### (3) 国際交流活動準備金

収入の部 (単位：円)

項 目	予 算	決 算	備 考
前期からの繰越金	1,126,420	1,126,420	
一般会計から積立	100,000	30,000	
合 計	1,226,420	1,156,420	

支出の部 (単位：円)

項 目	予 算	決 算	備 考
次期への繰越金	1,226,420	1,156,420	
合 計	1,226,420	1,156,420	

Ⅲ. 2011年度監査報告 (単位：円)

費目	当期末余 剰金	余剰金 処理	備考	次期への 繰越金 (当期末 財産)	前期から の繰越金 (前期末 財産)	財産 増減
一般会計	540	0		540	33,134	-32,594
MMT誌会計	0	0		0	0	0
基金等						
Young Investigator Fund	724,475 1,513,000	0 0		724,475 1,513,000	764,475 1,463,000	-40,000 50,000
国際会議準備金	1,156,420	0		1,156,420	1,126,420	30,000
国際交流活動等準備金						
合 計	3,394,435	0		3,394,435	3,387,029	7,406

上記のとおり相違ありません。  
平成24年4月

日本IFTtoMM会議実行委員会  
委員長 北條 春夫  
幹事 武田 行生

上記の調査を遂げ、その正確であることを承認します。

監事 大輪 武司  
監事 中村 仁彦

## IV. 2012年度事業計画案

### 1. 国際活動

- (1) 執行委員会（2012年11月6日，7日，東京）を開催
- (2) 国際会議 2<sup>nd</sup> IFToMM Asian Conference on MMS (2012年11月7日～10日，東京工業大学・大岡山キャンパス，東京にて開催)を主催，実行委員会を数回開催
- (3) 国際会議 The Joint International Conference of the XI International Conference on Mechanisms and Mechanical Transmissions (MTM) and the International Conference on Robotics (Robotics' 12) (2012年6月6日～8日，フランス，クレルモン フェランにて開催)に参加
- (4) 国際会議 19<sup>th</sup> CISM-IFTToMM Symposium on Robot Design, Dynamics, and Control (Romansy 2012) (2012年6月12日～15日，フランス，パリにて開催)に参加
- (5) 国際会議 13<sup>th</sup> International Symposium on Advances in Robot Kinematics (ARK2012) (2012年6月24日～28日，オーストリア，インスブルックにて開催)に参加
- (6) 国際会議 2<sup>nd</sup> IFToMM Symposium on Mechanism Design for Robots (MEDER2012) (2012年10月12日～14日，中国，北京にて開催)に参加
- (7) 国際会議 16<sup>th</sup> International Conference on Mechatronic Technology (ICMT2012) (2012年10月16日～19日，中国，天津にて開催)に参加

### 2. 国内活動

- (1) 実行委員会を4回開催予定（2012年5月12日，9月，11月，2013年4月）
- (2) 2012年度総会を開催（2012年5月12日，東京工業大学）
- (3) 第18回日本IFTToMM会議シンポジウムを開催（2012年5月12日，東京工業大学）
- (4) 若手会員育成のためのシンポジウム表彰（若手会員育成基金「Young Investigator Fund」に基づく優秀論文賞贈賞，2012年度第18回シンポジウムにて）
- (5) 日本IFTToMMニュースを年1回発行予定
- (6) 日本IFTToMM会議のWebサイトをさらに充実する
- (7) 特別講演会・見学会を企画する
- (8) 会員増強キャンペーンを行う



## V. 2012年度収支予算案(2012年4月1日～2013年3月31日)

### 1. 一般会計

#### 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	備 考
会費収入（個人）	660,000	5,000円×120名, 5,000円×12名
会費収入（賛助）	200,000	50,000円×4社
予稿集売り上げ	10,000	1,000円×10名
技術交流会会費	100,000	5,000円×20名
見学会懇親会会費	60,000	4,000円×15名
Young Investigator Fund表彰経費	40,000	Young Investigator Fundより繰入
MMT誌会計から繰入	38,000	2011年度の赤字補てん払戻の一部
小 計	1,108,000	
前期からの繰越金	540	
合計	1,108,540	

#### 支出の部

(単位：円)

項 目	予 算	備 考
[国際活動費]	210,000	2012年度会費 US\$2,400.00
IFTtoMM年会費	200,000	
送金手数料	10,000	
[国内活動費]	420,500	
会議費	40,000	実行委員会費用
シンポジウム・総会費	200,000	シンポジウム・総会費用
見学会費用	10,000	
特別講演会開催費	10,000	
フェロー記念品	3,500	
事務委託費	80,000	年間
通信費	20,000	切手, 宅配便等
郵便振替費	7,000	
事務局諸経費	50,000	コピー代, ホームページ保守費, ドメイン登録費, サーバ利用費, 文具等
[MMT誌費]	64,000	
賛助会員購読料	64,000	16,000×4 (2012 Vol. 47)
[Young Investigator Fund表彰]	40,000	(MMT誌会計へ繰入)
賞品	30,000	
賞状および賞楯	4,000	図書カード
通信費	6,000	レーザ彫刻賞楯
国際会議準備金積立	210,000	論文審査連絡通信費
国際交流活動準備金	140,000	2011年度の減額分を増額 2011年度の減額分を増額
小 計	1,084,500	
次期繰越金	24,040	
合 計	1,108,540	

## 2. MMT誌会計

### 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	備 考
MMT誌購読料収入		
個人	320,000	16,000×20 (2012 Vol. 47)
	48,000	16,000×3 (2011 Vol. 46)
賛助	64,000	16,000×4 (2012 Vol. 47)
		(一般会計から繰入)
小 計	432,000	
前期からの繰越金	0	
合 計	432,000	

### 支出の部

(単位：円)

項 目	予 算	備 考
出版社への支払	384,000	16,000×24 (2012 Vol. 47)
送金手数料	10,000	
一般会計へ繰入	38,000	2011年度の赤字補てんの払戻一部
小 計	432,000	
次期への繰越金	0	
合 計	432,000	

## 3. 基金等

### (1) Young Investigator Fund

#### 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	備 考
前期からの繰越金	724,475	
合 計	724,475	

#### 支出の部

(単位：円)

項 目	予 算	備 考
一般会計へ繰り入れ	40,000	表彰経費
次期への繰越金	684,475	
合 計	724,475	

### (2) 国際会議準備金

#### 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	備 考
前期からの繰越金	1,513,000	
一般会計から積立	190,000	
合 計	1,703,000	

#### 支出の部

(単位：円)

項 目	予 算	備 考
国際会議開催経費	1,000,000	Asian MMS2012
次期への繰越金	703,000	
合 計	1,703,000	

(3) 国際交流活動準備金

収入の

(単位：円)

項 目	予 算	備 考
前期からの繰越金	1,156,420	
一般会計から積立	120,000	
合 計	1,276,420	

支出の部

(単位：円)

項 目	予 算	備 考
EC関連	200,000	ECのホスピタリティイベント
次期への繰越金	1,076,420	(11月)
合 計	1,276,420	

VI. 2012年度日本IFTtoMM会議実行委員会委員

委員長	北條 春夫	東京工業大学
副委員長	高西 淳夫 岩附 信行 佐々木 健	早稲田大学 東京工業大学 東京大学
幹事 副幹事	武田 行生 竹村 研治郎	東京工業大学 慶應義塾大学
委員	新井 健生 池原 忠明 伊藤 高廣 伊能 教夫 内山 勝 大石 久己 大岩 孝彰 大西 謙吾 岡田 昌史 小俣 透 木口 量夫 五嶋 裕之 小西 義昭 米田 隆志 小森 雅晴 近野 敦 下田 博一 鈴森 康一 高野 涉 高信 英明 高増 潔 田中 英一郎 寺田 英嗣 中田 毅 南後 淳 樋口 俊郎 福田 敏男 藤原 浩幸 前野 隆司 松元 明弘 宮川 豊美 明 愛国 森脇 一郎 八島 真人 山中 仁 山中 将 山本 晃生 横田 眞一 Jorge Solis Venture	大阪大学 東京都立産業技術高等専門学校 九州工業大学 東京工業大学 東北大学 工学院大学 静岡大学 東京電機大学 東京工業大学 東京工業大学 佐賀大学 (財)機械振興協会 日機装(株) 芝浦工業大学 京都大学 北海道大学 明治大学 岡山大学 東京大学 工学院大学 東京大学 芝浦工業大学 山梨大学 東京電機大学 山形大学 東京大学 名古屋大学 防衛大学校 慶應義塾大学 東洋大学 秋田工業高等専門学校 電気通信大学 京都工芸繊維大学 防衛大学校 沼津工業高等専門学校 高工エネルギー加速器研究機構 東京大学 東京工業大学 Karlstads University 東京農工大学
監事	大輪 武司 中村 仁彦	金沢工業大学 東京大学

※印は新任

[3]国際会議The 2nd IFToMM Asian Conference on Mechanism and Machine Science  
(Asian-MMS2012)の開催報告

文責 大会委員長 岩附信行

本会主催の初の国際会議として、The 2nd IFToMM Asian Conference on Mechanism and Machine Science (Asian-MMS2012)を下記のように無事、開催することができました。東日本大震災後の逆境の中で、予想以上に多数の国からの投稿、出席者を得ることができ、盛大な会議とすることができました。また、並列して開催されたECについてもECメンバーを含めた交流ができ、意義深いものとなりました。ご協力いただいた会員各位ならびに協賛いただいた学協会、支援の各社に心より厚く御礼申し上げます。

記

1. 期 間： 2012年11月7日（水）～11月10日（土）
2. 会 場： 東京工業大学大岡山キャンパス（東京都目黒区大岡山2-12-1）  
西9号館ほか
3. 協賛等：  
共催 IFToMM  
協賛 (一社)日本機械学会，(公社)精密工学会，(一社)日本ロボット学会，  
(公社)日本設計工学会，(一社)日本トライボロジー学会，  
(公社)自動車技術会，(公社)計測自動制御学会，  
(公社)日本工学教育協会，(社)日本機械設計工業会，  
(社)日本ロボット工業会，(社)日本歯車工業会，日本カム工業会  
支援 NSKメカトロニクス技術高度化財団，菊地製作所，THK，  
ソリッドワークスジャパン，  
テクノダイナミクス，アルトナー，キャノンITソリューションズ
4. 組 織：  
名誉委員長 舟橋宏明（東京工業大学），吉本堅一（東京大学）  
大会委員長 岩附信行（東京工業大学）  
共同プログラム委員長 武田行生（東京工業大学），  
Chintien HUANG（National Cheng Kung University）  
執行委員会 Shuo Hung CHANG (Taiwan)，岩附信行(Japan)，Feng GAO (China)，  
C. AMARNATH (India)，I-Ming CHEN (Singapore)，  
Nguyen Van KHANG(Vietnam)，  
Yoshihiko NAKAMURA (IFToMM)  
国際委員会 11ヶ国，20名  
実行委員会 横田眞一委員長（東京工業大学）以下49名  
事務局 岡田昌史（東京工業大学）
5. 論文採択： 投稿 21ヶ国99件，採択 20ヶ国87件
6. 参加国： 20ヶ国  
日本，中華人民共和国，台湾，大韓民国，連合王国，ロシア，ハンガリー，  
カザフスタン，トルコ，フランス，カナダ，ポーランド，ベトナム，ルーマニア，  
オランダ，タイ，マレーシア，ドイツ，スーダン，メキシコ
7. 参加者： 129名（国内57名，海外72名）
8. キーノートスピーチ： 6件

- (1) Professor Shigeo Hirose, Tokyo Institute of Technology, Japan  
Design of Robotic Mechanisms (Past Experience and Future Direction)
- (2) Professor Shuo Hung Chang, National Taiwan University, Taiwan  
MEMS Techniques for Optical Management in Solar Cells
- (3) Professor Frank Chongwoo Park, Seoul National University, Korea  
Towards a Theory of Robot Motor Control
- (4) Professor Doina Liana Pislă, The Technical University of Cluj-Napoca, Romania  
Innovative Approaches in Surgical Robotics - Past, Present and Future -
- (5) Professor Qiang Huang, Beijing Institute of Technology, R. P. China  
Design and Development of BHR Humanoid Robots
- (6) Dr. Shinichi Natsumeda, Basic Technology R&D Center, NSK Ltd., Japan  
State of Art of Rolling Bearing Design

9. セッション：  
機械運動学，機械要素，アクチュエータ，ロボティクス，ダイナミクス，  
トライボロジー，車両の動設計，メカトロニクス，マイクロ，ナノ機構，  
医用・福祉機械，機械工学教育など  
21セッション

10. 付帯行事：  
プレコンファレンスツアー      産総研デジタルヒューマン研究所  
ウエルカムパーティ  
ラボツアー                          東京工業大学機械系研究室  
バンケット                          木曾路碑文谷店  
フェアウエルパーティ

11. 優秀論文賞：  
1次審査：ピアレビュー時に査読者より推薦，実行委員会にて6分野20編を選出  
2次審査：Prof. Doina Pislă (The Technical University of Cluj-Napoca) 委員長以下  
7名からなるAward Committeeにより下記6編の優秀論文を選出し，バン  
ケットにて表彰

- (1) Mechanism Design field : (Sponsored by SolidWorks Japan)  
Burkhard CORVES, Guido LONIJ and Mathias HÜSING(Germany)  
Synthesis of an Indexing Mechanism under Consideration of Dynamic  
Performance
- (2) Machine Elements field: (Sponsored by THK Co. Ltd.)  
Shyi-Jeng TSAI, Guan-Lin HUANG and Siang-Yu YE(Taiwan)  
Tooth Contact Analysis of Planetary Gear Sets with a Floating Sun Gear
- (3) Kinematics field: (Sponsored by Techno Dynamics Inc.)  
Ko Ayusawa, Yosuke Ikegami and Yoshihiko Nakamura(Japan)  
Simultaneous Solver for Kinematic Identification and Inverse Kinematics of  
Human Skeletal Model from Motion Capture Data,
- (4) Robotics field: (Sponsored by Kikuchi Seisakusho Co. Ltd.)  
Ryuhei FUNATO, Makoto OGATA, Daisuke MATSUURA,  
Masaru HIGUCHI and Yukio TAKEDA(Japan)
- (5) Mechatronics field: (Sponsored by Canon IT Solutions Inc.)  
Hsing-Cheng Yu, Chau-Shin Jang and Wen-Yang Peng(Taiwan)  
Design Methodology and Verification of High-speed Slim Sensorless Brushless  
DC Motors with Self-lubricated Bearings,
- (6) Precision System field: (Sponsored by Artner Co. Ltd.)  
Hung-Yu Wang, Chung-Hao Lin, Bo-Hsun Liao and Kuang-Chao Fan(Taiwan)  
Development of a high precision co-planar stage with a  
multi-degree-of-freedom sensor

上記優秀論文をMMT誌のpartial special issueへ推薦

## 12. 財務報告：

### (収入)

参加登録費	3,944千円	(一般91名, 学生29名)
同行者エクスカーション参加費	54千円	(参加者18名)
機器・カタログ展示収入	420千円	(機器展示6社)
助成金	500千円	(財団集会助成)

---

合計	4,918千円
----	---------

### (支出)

印刷費 (CFP, プログラム)	188千円
会場費	228千円
クレジット入金代行	346千円
会場アルバイト費	358千円
USBプロシーディングス	315千円
キーノート講師謝金・支援	400千円
コンGRESバッグ・名札	86千円
機器搬送経費	83千円
昼食・コーヒー経費	492千円
バンケット経費	1,365千円
ウエルカムレセプション経費等	263千円
国際委員会会議費	138千円
見学会経費等	254千円
優秀論文賞賞品	52千円
実行委員会・反省会経費	267千円
その他雑費	83千円

---

合計	4,918千円
----	---------

## 13. フォトギャラリー：

会期中の末尾に添付します。

以上

#### [4]IFTToMM Newsletterへの投稿

IFTToMM本部が毎年発行するNewsletterに日本IFTToMM会議のアクティビティ報告を行いました。

#### MO JAPAN

Prof. Haruo Houjoh, Tokyo Institute of Technology

Email: [hhoujoh@pi.titech.ac.jp](mailto:hhoujoh@pi.titech.ac.jp)

Japan IFTToMM (Jc-IFTToMM) had an annual Symposium on May 12, where 11 presentations were arranged covering Robotics, Dynamics, etc., and including a special lecture titled "The Great East Japan Earthquake and Robots - What the robots should be - " by Professor Shigeo Hirose. The meeting encouraged a few young researchers by awarding for their Good Presentation. The best presentation among the finalist was to Dr. Daisuke MATSUURA who presented "Noncontact Micro Probe Manipulation System Having 3D Magnetic Tweezer and 3-DOF Flexure Stage".

The biggest news this year was the supporting passion expressed by Prof. Marco Ceccarelli, the former President of IFTToMM, who visited Tokyo and completed the full Tokyo marathon last February (picture). His encouragement was not only to Japanese colleague but also to the all the IFTToMM people who were anxious about the "Tsunami" disaster followed by the failure of the nuclear plant. The second news is that we became proud of the new President of the IFTToMM, Yoshi Nakamura, Professor of Tokyo University.

In addition to the regular activities of Jc-IFTToMM, we have just organized the 2<sup>nd</sup> IFTToMM Asian Conference on MMS, at Tokyo Institute of Technology, O-okayama, in November 7-10, with 130 participants from 17 Asian nations and some European countries. The conference was preceded by the EC meeting hosted by the new president Yoshi Nakamura. We had finally 6 keynote speeches and 87 presentations after strict peer reviewing by program committee. The next 3rd conference will be held in 2014 and will be announced soon.



Young Investigator Award finalists with Jc-IFTToMM Chair



Prof. Marco Ceccarelli after 11km run

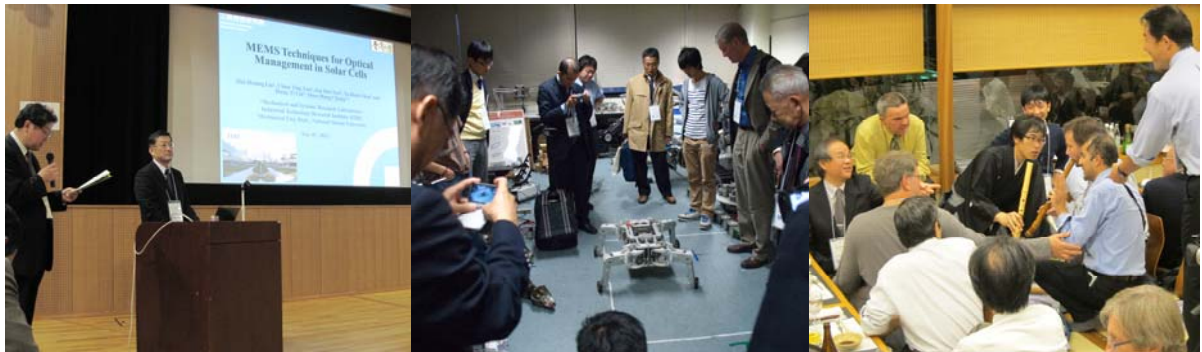


With Professor Takanishi, after 4h55m36s accomplishment





Assembly photo at the 2<sup>nd</sup> IFToMM Asian conference on MMS



Keynote speech

Lab tour

Banquet

Some snap shots in the 2<sup>nd</sup> IFToMM Asian conference on MMS

(文責 岩附)

